

# 人事行政の運営などの状況

問合せ 庶務課 ☎(43) 1111 内線233

市の人事行政の運営の公平性、透明性を確保するため、令和6年度および令和7年度の市職員の給与や勤務条件、研修や処分状況などについて公表します。

## ① 職員の任免および職員数の状況

### □ 職員の採用 (令和6年度)

事務職21人、保育士6人、保健師2人、計29人の職員を採用。

### □ 職員の退職 (令和6年度)

区分	事務職	技能労務職	合計
定年退職	7人	—	7人
勤奨退職	実施なし		
自己都合退職	8人	0人	8人
そのほか (死亡、免職、失職)	0人	0人	0人
合計	15人	0人	15人
再任用職員	6人	1人	7人

※「再任用職員」…退職後に市に再雇用された職員。

## ② 職員の給与の状況

### □ 人件費 (普通会計決算)

市の人口48,801人(令和7年1月1日現在)

区分	歳出総額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費 比率 (B/A)
令和6年度	19,273,610千円	1,157,351千円	3,060,148千円	15.9%

※人件費には、特別職に支給される給料、報酬などを  
含んでいますが、公営企業などの職員にかかる給与、  
報酬などは含んでいません。

### □ 職員給与費 (一般会計当初予算)

区分	職員数 (A)	給与費				1人あたり 給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
令和7年度	364人	1,322,516千円	249,227千円	702,678千円	2,274,421千円	6,248千円

※職員手当には、退職手当を含んでいません。

### □ ラスパイレス指数

(各年4月1日現在)

区分	令和6年度	令和元年度
幸手市	98.8	99.5
全国市平均	98.6	98.9

※ラスパイレス指数とは、一般的に地方公務員と国家公務員の給与水準の比較に用いられるもの。

### □ 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額

(令和7年4月1日現在)

区分		経験年数			
		10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	
一般行政職	大学卒	295,624円	321,833円	360,312円	
	高校卒	257,700円	290,167円	—	
技能労務職	高校卒	—	—	—	

※経験年数とは、市職員として採用される前の  
職歴などの経験を勤続年数に加算した年数。

### □ 部門別職員数 (各年4月1日現在)

部門		区分	職員数		増減
			令和7年度	令和6年度	
普通会計部門	一般行政部門	議会	4人	4人	0人
		総務	106人	104人	2人
		税務	26人	26人	0人
		民生	84人	84人	0人
		衛生	18人	19人	△1人
		労働	1人	1人	0人
		農林水産	9人	9人	0人
		商工	3人	4人	△1人
		土木	40人	37人	3人
		小計	291人	288人	3人
	特別行政部門	教育	32人	33人	△1人
		消防	0人	0人	0人
		小計	32人	33人	△1人
計		323人	321人	2人	
公営企業 など	水道	12人	11人	1人	
	下水道	7人	6人	1人	
	その他	18人	19人	△1人	
	小計	37人	36人	1人	
合計		360人	357人	3人	

※職員数は、一般職に属する職員数であり、地方公務員法の身分を有する休職者、派遣職員などを  
含み、臨時または非常勤職員を除いています。

### □ 職員の初任給 (令和7年4月1日現在)

区分	幸手市	国
一般行政職	大学卒 225,600円	220,000円
	高校卒 194,500円	188,000円
技能労務職	高校卒 167,700円	211,000円

### □ 職員の平均年齢・平均給料月額・

平均給与月額 (令和7年4月1日現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	40.4歳	319,468円	384,532円
技能労務職	54.9歳	328,000円	373,062円

※平均給料月額は、職員の基本給の平均です。  
※平均給与月額は、基本給と扶養手当などの  
各種手当を合計し、平均したものです。

### □ 一般行政職の級別職員数 (令和7年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主事	主任	主査	主幹	主席主幹	課長	部長	
職員数	58人	69人	52人	13人	17人	25人	7人	241人
構成比	24.1%	28.6%	21.6%	5.4%	7.0%	10.4%	2.9%	100.0%

※市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。  
※標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名。  
※職員数には、国家公務員との比較のため、企業、税務、福祉、  
技能労務職員などは含んでいません。

### □ 退職手当 (令和7年4月1日現在)

区分	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.270750月分
勤続35年	39.7575月分	47.709000月分
最高限度	47.7090月分	47.709000月分
支給職員1人あたり平均支給額 (令和6年度)	15,736千円	—

※幸手市は、埼玉縣市町村総合事務組合に加入し、退職手当  
の支給率は同組合の支給条例に基づくものです。退職手当  
の1人あたり平均支給額は、令和6年度に退職した職員に  
支給された平均額です。

### □ そのほかの手当 (令和6年度決算)

区分	支給実績額	支給職員1人あたり 平均支給年額
扶養手当	24,972千円	208千円
住居手当	18,382千円	266千円
通勤手当	16,954千円	61千円
管理職手当	44,376千円	541千円

## ③ 職員の勤務時間、 そのほかの勤務条件の状況

### □ 職員の勤務時間

勤務時間は、一週間あたり38時間45分です。原則毎週  
月曜日～金曜日(8:30～17:15/12:00～13:00は休憩時  
間)となります。

また、一部の職場においては、その業務の実情に応じ  
て職員の勤務時間の変更を行っています。

### □ 休暇制度の種類と概要

年次有給休暇	労働基準法第39条により与えられる有給の休暇であり、1年につき最高20日間、前年からの繰越分を含め年に最高40日間になります。
病気休暇	負傷または疾病のために勤務できない職員に対し、原則上限90日まで、その治療に専念させることができる有給の休暇です。
特別休暇	特別の事由により認められる有給の休暇です。
介護休暇	配偶者、子、本人または配偶者の父母などの親族で負傷、疾病または老齢により2週間以上にわたり日常生活に支障がある人の介護をするために認められる無給の休暇です。
組合休暇	職員団体の業務または活動に従事するために認められる無給の休暇です。

## ④ 職員の分限および懲戒処分の状況

### □ 分限処分の状況

令和6年度に休職処分を受けた職員は5人(心身の故障)  
でした。免職処分、降任処分、降給処分を受けた職員  
はいませんでした。

### □ 懲戒処分の状況

令和6年度は、免職処分、停職処分、減給処分、戒告処分  
を受けた職員はいませんでした。

### □ 地域手当 (令和6年度決算)

支給実績額	78,554千円
支給職員1人あたり平均支給年額	224千円

### □ 特殊勤務手当 (令和6年度決算)

支給実績額	657千円
支給職員1人あたり平均支給年額	8千円

### □ 時間外勤務手当 (令和6年度決算)

支給実績額	65,886千円
支給職員1人あたり平均支給年額	271千円

### □ 特別職の報酬など (令和7年4月1日現在)

区分	給料または報酬月額	期末手当支給率	
市長	839,000円	6月期	2.30月分
		12月期	2.30月分
		計	4.60月分
副市長	727,000円	6月期	2.30月分
		12月期	2.30月分
		計	4.60月分
議長	432,000円	6月期	2.30月分
		12月期	2.30月分
		計	4.60月分
副議長	382,000円	6月期	2.30月分
		12月期	2.30月分
		計	4.60月分
議員	353,000円	6月期	2.30月分
		12月期	2.30月分
		計	4.60月分

※市長の給料月額は、令和5年12月1日から  
令和9年10月5日まで587,300円に減額しています。

### □ 年次有給休暇の取得状況 (各年平均)

令和6年	令和5年
12.2日	12.9日

### □ 育児休業の取得状況

育児休業とは、3歳未満の子を養育するため、職務  
に従事しないことを可能とする制度です。育児休業  
期間は、給与は支給されません。

令和6年度に育児休業を取得した職員は、男性8人、  
女性18人でした。

## ⑤ 公平委員会への措置要求および 審査請求の状況

令和6年度は、措置要求、審査請求ともにありま  
せませんでした。

## ⑥ 職員の研修の状況

区分	コース数	延べ受講者数
自主研修	2	9人、1所属
基本研修	24	573人
一般研修	39	342人
特別研修・その他	4	8人